

令和7年度第1回森林の未来を考える懇談会での御意見

資料5

NO.	令和7年度第1回懇談会での意見	令和7年度第1回懇談会での回答状況	令和8年度当初予算への反映状況	担当課
1	クマがすごく出てきているのでその対策を考えていただきたい。	里山林整備事業で緩衝帯整備を実施しており、事業を実施した地域の方々によれば、野生鳥獣の出没が減少したという話を聞いている。	【里山林整備事業】 R8年度 予算額：42,000千円（対前年比102%） 計画量：55件、105ha（対前年比102%）	森林保全課
2	ナラ枯れの被害が懸念される。里山でドングリのなる木はもうなくなってしまおうのではと思うぐらい拡散している。もっと対策はないのか。緊急でナラ枯れ対策すべきは里山だと思う。	里山林保全対策事業で、人が集まる場所や保安林などの重要な森林で重点的に防除対策を実施している。	【里山林保全対策事業】 R8年度 予算額：26,000千円（対前年比105%） 計画量：延べ25市町村（対前年比131%）	森林保全課
3	森林所有者が維持管理できなくなってしまっている部分があり、この税制度の中だけでは対応が難しいと思うが、是非、今後森林整備の在り方をご検討いただければと思う。	「森林環境の適正な保全」として森林所有者等が行う森林整備を支援している。 引き続き森林整備のあり方を検討しながら取り組んでいく。	【森林機能維持事業】 R8年度 予算額：424,196千円（対前年比111%） 計画量：560ha（対前年比189%） 【花粉の少ない森林づくり事業】R8（新規） R8年度 予算額：65,729千円（国庫含む） 事業量：50ha	森林整備課
4	他県の取組のように携帯のGPSで地図を見ながら、森林所有者に集まってもらって境界明確化するような取組があってもいいと思う。	境界明確化等で地域での活動を支援する取組もある。	【県民参画の森林づくり促進事業】 R8年度 予算額：5,571千円（対前年比81%） 計画量：10団体（対前年比62%）	森林計画課
5	既に環境を大事にしている人が集まる植樹祭やもりの案内人の活動で環境教育事業を行うよりも、地主を対象とした意識の醸成事業を展開することを考えてもいいと思う。	森林所有者向けの事業としては、森林を維持し森林整備を行っていただけよう、森林整備の実施と併せて森林整備の重要性を発信していく。	【森林整備事業】 R8年度 予算額：585,520千円（対前年度比106%） （619,465千円（国庫含む）） 計画量：881ha（対前年比130%） 【森林環境情報発信事業】 R8年度 予算額：11,066千円（対前年比103%） 計画量：PRパンフレット作成、PR物品作成 PR動画作成（対前年比100%）	森林整備課 森林計画課
6	森林環境税を使った取組の一つに、外に出たい不登校の子の居場所づくりを入れていただきたい。	県民参画の森林づくり促進事業として、森林づくりイベントの開催や森林ボランティアによる森林整備活動、緑化活動など自主的に行う団体を支援する事業がある。	【県民参画の森林づくり促進事業】 R8年度 予算額：5,571千円（対前年比81%） 計画量：10団体（対前年比62%）	森林計画課